

3.11の大震災を体験した私たちは、今後の防災のために会員一人ひとりの体験を基に討議を重ね「大地震に対する14の備え」を作成しました。保存版として皆様に公開致します。

同友クラブ

保存版

同友クラブ災害マニュアル「大地震に対する14の備え！」

平時の備え

- 1、家屋や塀の耐震診断を行い、必要な補強をしておく。
- 2、家具類の転倒防止・落下防止をしておく。
- 3、停電地域の金融機関は、取引が困難になるため、現金を少額備えておく。
- 4、家族で安否確認の方法や集合場所（避難場所）を決めておく。
- 5、避難する際、けがの防止のため靴を準備しておく。
- 6、懐中電灯・ラジオ・ローソク等の非常用品は、置く場所をきめておく。
- 7、火災の発生に備え、消火器を準備すると共に風呂に水を溜めておく。
- 8、地域の防災マップに加え、井戸や水源の場所を事前に確認しておく。
- 9、筑西市は川に囲まれています。橋が倒壊した場合孤立することも考えておく。
- 10、職場の災害時対応マニュアルを見直し、防災訓練を実施する。

大地震が来たら

- 11、緊急理事会を招集し、会員の被災状況を把握し、震災対応を速やかに検討する。
- 12、会員の連絡には、メールやツイッターを利用する。
- 13、近隣市町村の情報を集め、協調に努める。
- 14、自宅ならびに職場では、近所の方と協力し情報の収集に努める。